

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

JFEミネラル株式会社 福山製造所

(2) 事業所の所在地

広島県福山市鋼管町1番地

(3) 業種

生石灰製造

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成26年度を基準年度とし、平成28年度から平成32年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え方

当社は、環境問題をけ経営の重要な課題として考え、その中で、地球温暖化防止については、当社の製品を使用する消費者のことも考慮しつつ、温室効果ガスの削減に努めます。

2. 方針

- 1) 焼成工場の省エネルギーの推進
- 2) 焼成工場の送風電力削減
- 3) 焼成工場の燃料構成の改善
- 4) 社員への環境教育

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成26年度	平成27年度
二酸化炭素	209,807	277,215	236,756

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成26年度	平成27年度
二酸化炭素	523,655	562,971	537,736

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成 年度	平成 年度
メタン			
一酸化二窒素			
HFC PFC SF6			

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)		削減目標		目標年度 (平成 年度)	
	排出量 (a)		削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)	
エネルギー起源CO2						0
非エネルギー起源CO2						0
メタン						0
一酸化二窒素						0
フロン類						0
温室効果ガス 実排出量総計						0
温室効果ガス みなし排出量			-			0
目標設定の考え方						

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成26年度)			原単位 削減目標	基準年度 (平成32年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	277,215	799,400	0.35	8.6	247,172	766,500	0.32
非エネルギー起源CO2	562,971	799,400	0.70	0.0	539,921	766,500	0.70
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
フロン類				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方	燃料構成の改善、モーター効率改善、粒度構成最適運用による熱原単位の改善により、原単位削減に取り組む。						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	炉内空気吹込みブローア- V V V F 化	1,000千Kwh/年	空気吹込ブローア-のV V V F化による電力の低減
2	排ガス集塵機V V V F化の最新型更新	318千Kwh/年	排ガス集塵機V V V F化の最新型更新による電力の削減
3	受配電設備変圧器の更新	301千Kwh/年	受配電設備変圧器の更新による電力の削減
4	燃料構成の改善	997 t-CO ₂ /年	都市ガス使用による燃料構成の改善

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

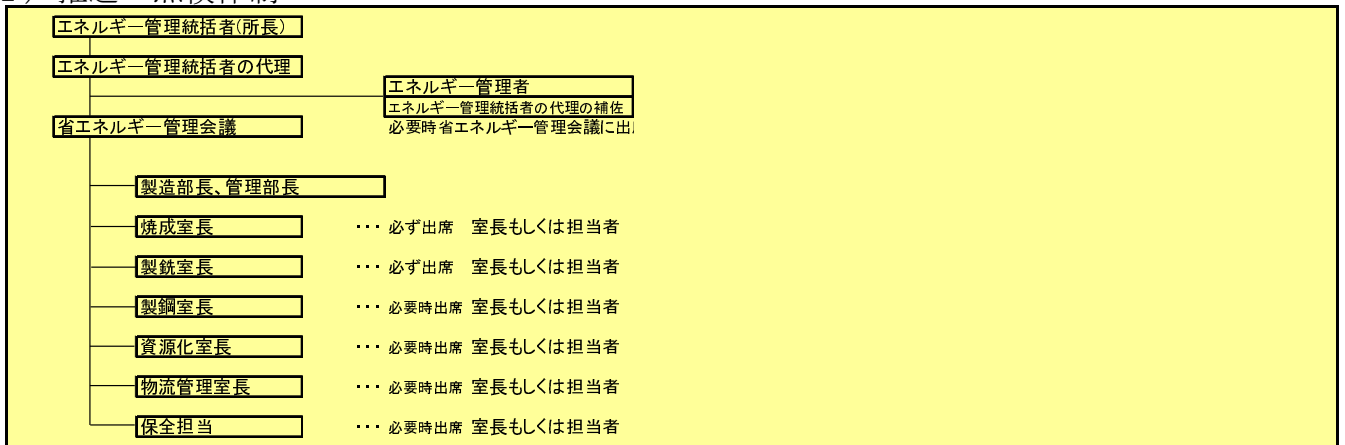
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	L E D 照明の導入	基準年度の10%	事務所、工場詰所の照明、設備照明の切替
2	用紙の削減	基準年度の5%	OA会議室活用によるペーパーレス化、裏紙使用、両面コピーの徹底
3	使用済みベルトの再資源化	5 t /年	廃ベルトの回収、保管の徹底

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

毎月の省エネルギー管理会議において、生石灰エネルギー原単位、石炭原単位、電力原単位の目標値と実績の進捗状況確認と評価・見直しを実施。継続的な原単位向上に取り組む。

(3) 計画書等の公表

事業所書棚に備え付けて閲覧。